

環境報告書

2025

東京二十三区清掃一部事務組合

有明清掃工場



有明清掃工場のあらまし

事業概要

有明清掃工場は、東京二十三区清掃一部事務組合(以下「清掃一組」という。)が運営する清掃工場です。

当清掃工場は、東京 23 区内の事業所等から発生する一般廃棄物の焼却処理を行っており、あわせて、臨海副都心の台場、青海、有明南地区のごみを管路で収集しています。

また、エネルギーの活用として、焼却時の熱エネルギーを利用して発電した電気を工場内で使用し、余剰の電力は電気事業者に売却するとともに、地域冷暖房会社へは蒸気を、江東区有明スポーツセンターへは高温水を熱源として供給しています。

環境方針

私たちは、地球温暖化や生態系保護等をはじめ地球環境を守り、健全な状態に保全しつつ将来の世代に引き継いでいく責務を負っています。そのためには、区民、事業者、行政が一体となって「低炭素社会」や「自然共生社会」を目指して資源循環型社会システムを築き上げていくことが必要です。

有明清掃工場は、省エネルギー、省資源を図りながら環境への負荷を低減するため、臨海副都心の資源循環型社会システムの一環として、次のことに取り組みます。

- 1 有明清掃工場が受け入れるごみを、安全・安定的に焼却することにより、衛生的環境を確保するとともに、焼却により発生する熱エネルギーを臨海副都心に供給し、その有効利用を通じて、資源循環型社会システムの形成に貢献します。
- 2 環境関連法令、地元区との操業協定及びその他の要求事項を順守していきます。
- 3 環境パフォーマンス向上のため、環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、環境負荷の低減に努めます。
- 4 環境影響改善のため環境目標を設定し、実効ある対策を推進するとともに、定期的にこれらをレビューします。
- 5 施設の公開や情報発信及び地域と連携した環境啓発を通じて、区民から親しまれる清掃工場を目指します。
- 6 この環境方針に沿って環境マネジメントシステムを運用し、維持していきます。また、当工場職員及び関係請負業者に周知するとともに、区民をはじめ一般に公開します。

東京二十三区清掃一部事務組合

有明清掃工場長

編集方針

・報告する期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

・環境マネジメントシステムの適用範囲

有明清掃工場及び有明清掃工場サブステーションの敷地並びにごみ管路における事業活動

・参考にしたガイドライン

「環境報告ガイドライン（2018年版）」環境省

建設及び設備のあらまし

建設の概要

敷地面積	清掃工場	約 24,000 m ²
	サブステーション	約 1,900 m ²
しゅん工	平成 6 年 7 月 (管路収集プラントは平成 7 年 12 月)	
総工費	約 417 億円 (管路収集プラントを含む。)	
	約 192 億円 (ごみ管路及びサブステーション)	

実は時計になっています！

ご存じでしたか？

設備の概要

焼却プラント

焼却炉	全連続燃焼式火格子焼却炉
処理能力	400 t/日 (200 t/日 × 2 炉)
ボイラ設備	過熱器付きボイラ (2 基) 最大蒸発量 41.9t/h × 2 基
発電設備	蒸気タービン発電機 定格出力: 5,600kW
排ガス処理設備	ろ過式集じん器、洗煙設備、触媒反応塔
汚水処理	凝集沈殿ろ過方式
ごみバンカ	容量 約 10,000 m ³
灰バンカ	容量 約 600 m ³
飛灰搬出設備	容量 130 m ³ × 2 基 (飛灰貯留槽)
煙突	高さ 140 m

管路収集プラント

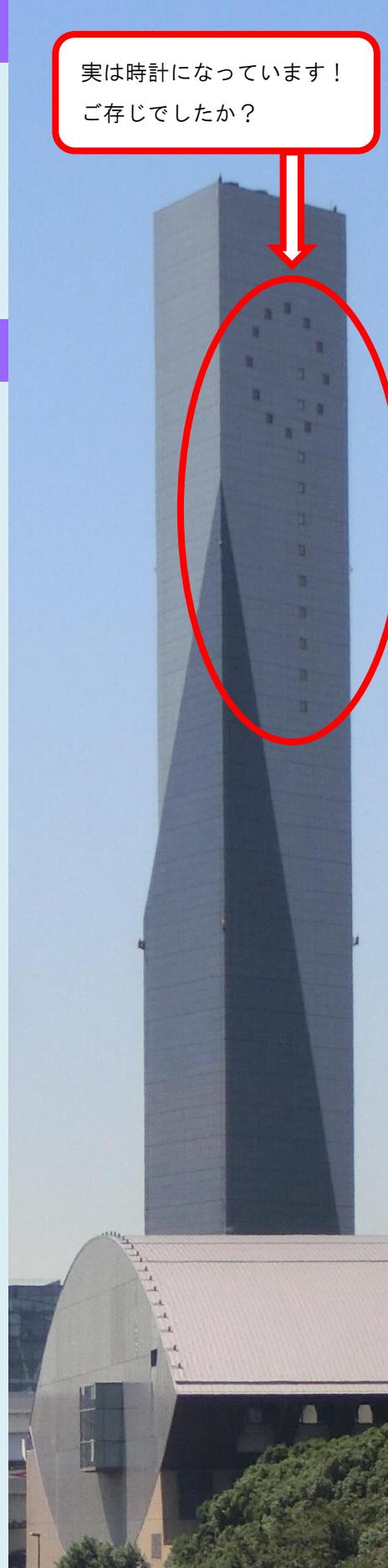
施設規模	400 t/日 (12 時間)
収集方式	空気吸引方式
プロワ	吸引圧力 -63.7 kPa
脱臭器	活性炭吸着式

有明清掃工場サブステーション

施設規模	110 t/日 (12 時間)
収集方式	空気吸引方式
プロワ	吸引圧力 -58.8 kPa
脱臭器	活性炭吸着式

ごみ管路

対象面積	約 4,420,000 m ²
管径	約 600 mm (内径)
管路延長	約 16.5 km
利用者設備	71 か所 (令和 7 年 3 月 31 日現在)



環境負荷の収支

令和6年度の主要物質収支

INPUT

ごみ処理量	86,750 t
受電電力量	5,549 MWh
都市ガス使用量	27,488 m ³
上水使用量	58,869 m ³
再生水使用量	57,237 m ³
雨水使用量	1,293 m ³
薬品使用量	
· 消石灰	160,390 kg
· 塩酸	177,480 kg
· 苛性ソーダ	288,970 kg
· アンモニア水	90,940 kg
· 塩化第二鉄	87,850 kg
· 重金属固定剤	59,320 kg

**OUTPUT**

CO ₂ 排出量※1 (エネルギー起源)	40,135 t-CO ₂
(非エネルギー起源)	123 t-CO ₂
残灰※2排出量	40,012 t-CO ₂
発電電力量	9,278 t
売電電力量	16,085 MWh
売却熱量※3	1,510 MWh
下水排水量	153,921 GJ
	81,658 m ³

※1 CO₂排出量：地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく報告値

エネルギー起源 CO₂：石油や石炭などの化石燃料を燃焼して作られたエネルギーを消費することによって生じるもの

非エネルギー起源 CO₂：上記以外のもの（ごみの焼却などから生じるもの）

有明清掃工場は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」により、特定地球温暖化対策事業所に指定され、平成 22 年度から、エネルギー起源 CO₂の総量削減義務が課されています。

※2 残灰：主灰及び重金属固定剤により薬剤処理した飛灰

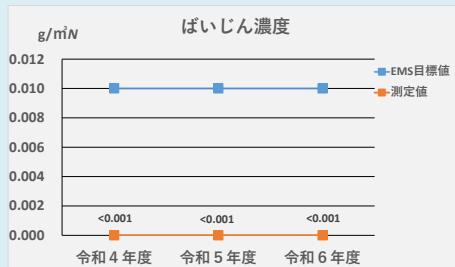
※3 売却熱量：有明清掃工場の焼却炉ボイラで発生し、地域冷暖房会社に売却された蒸気のエネルギー量

環境調査結果

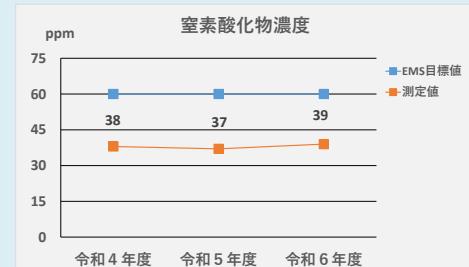
環境対策の取組

有明清掃工場では、法令等による基準値より厳しい EMS 目標値を設定し、環境汚染の予防に努めています。EMS 目標値から逸脱しないように運転管理するとともに、第三者機関による排ガス及び排水の測定を定期的に実施しています。

＜排ガス測定結果＞



排ガス中に含まれる粒子状物質であるばいじんは、集じん設備で除去しています。



ごみに含まれる窒素分は、焼却により窒素酸化物となります。窒素酸化物は脱硝設備によって水と窒素に分解しています。



ごみに含まれる硫黄分は、焼却により硫黄酸化物となります。硫黄酸化物は集じん設備や洗煙設備で除去しています。



ごみに含まれる塩素分は、焼却により塩化水素となります。塩化水素は集じん設備や洗煙設備で除去しています。

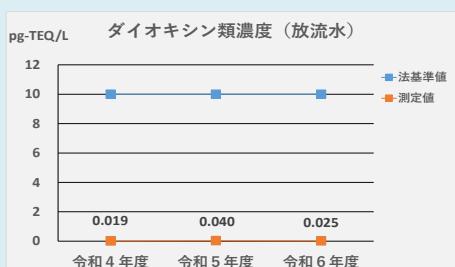


ごみに含まれる水銀は高温で気化します。排ガス中の水銀は集じん設備や洗煙設備で除去しています。

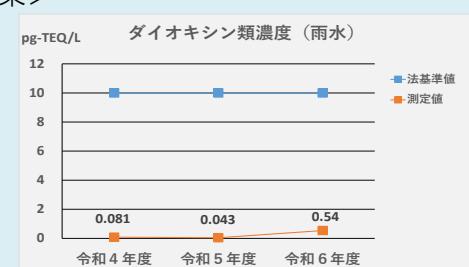


ごみを 850°C 以上の高温で燃やすことでダイオキシン類の発生を抑制し、さらに集じん設備で除去しています。

＜排水測定結果＞



放流水は、凝集沈殿ろ過方式により適正に処理し、公共下水道に排出しています。



初期雨水は工場内の汚水処理設備で処理し、それ以降の雨水は公共用水域に排出しています。

※複数回の測定結果は、算術平均して表しています。

環境への取組

環境マネジメントシステム(いちくみ EMS)の取組

ISO14001 は、ISO(国際標準化機構)が定めた環境マネジメントシステムに関する国際規格です。

清掃一組が所管する中間処理施設では、平成 11 年度から ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムを計画的に導入、認証取得し、環境汚染物質の削減、省資源・省エネルギーに取り組んできました。

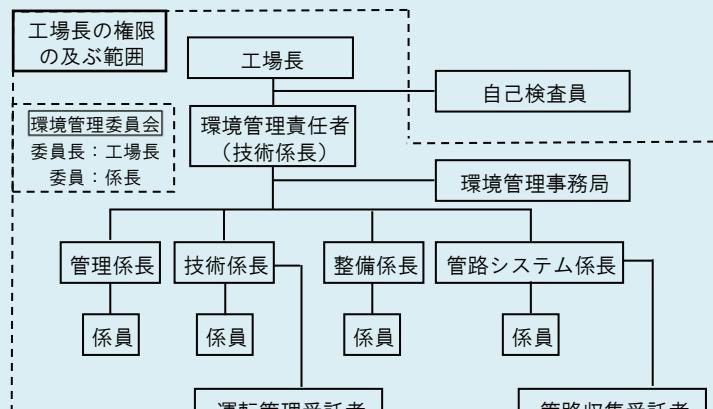
環境マネジメントシステムの導入から 24 年が経過し、組織に環境管理の考え方が定着したこと、また、これまで蓄積したノウハウを活用し、環境管理の効率化及び業務との連携強化を図るため、令和 5 年度に ISO14001 の認証を返上し、令和 6 年度以降は「いちくみ環境マネジメントシステム(いちくみ EMS)」を運用することとしました。

環境マネジメントシステム(いちくみ EMS)の運用

継続的な環境負荷の低減と省資源化に努めるため、毎月 1 回、環境管理委員会を開催しています。

右表に示すとおり、環境管理委員会では工場長をトップとし、環境目標の達成状況、法基準値の順守状況等を報告し改善に努めています。

運転管理及び管路収集の受託者も含めた全職員に対し、環境教育を定期的に行い、環境意識の向上に努めています。



令和 6 年度の環境目標の達成状況

令和 6 年度の環境目標は全て達成しました。

詳細は下表のとおりです。

分類	環境目標	達成基準	達成状況
省エネルギーの推進	焼却炉の安定運転	プラント設備故障による焼却炉の立下げ回数を年間 4 回以内	達成(3 回)
施設の公開や情報発信	ホームページのフォトレポート更新	HP フォトレポートの更新回数を年間 1 回	達成(1 回)

コミュニケーション

ありあけクリーンセンターサマーフェスティバル 2024

有明清掃工場では「ありあけクリーンセンターサマーフェスティバル 2024」を東京都下水道局有明水再生センター、東京都虹の下水道館、江東区有明スポーツセンター及び江東区立有明こども図書館との共催で開催しました。有明清掃工場のコーナーでは、「煙突わなげ」や清掃工場に関する展示、アンケートや工場見学などを行い、親子連れを中心に約 200 名の方に参加していただきました。

環境情報の公開

ホームページ

清掃一組では、ごみを安全かつ安定的に中間処理できるように様々な取組を行っています。取組内容は、随時、ホームページ等を通じて発信しています。

ホームページアドレス：<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/kojo/ariake/>



有明清掃工場ホームページ

工場だより

有明清掃工場だよりを年2回発行し、工場の情報をお知らせしています。

工場での配布のほか、清掃一組ウェブサイトでもご覧いただけます。



環境情報コーナー

環境情報コーナー

有明清掃工場4階ロビーの環境情報コーナーでは、維持管理の状況に関する測定値を閲覧できます。

閲覧できる測定値は、工場に設置された連続測定器の測定結果と第三者機関による定期測定の結果です。



排ガス状況表示盤

排ガス状況表示盤

工場入口前に排ガス状況表示盤を設置し、排ガス中の窒素酸化物、硫黄酸化物及び塩化水素の測定データを常時表示しています。

工場見学

有明清掃工場では団体見学会や個人見学会で多くの方にご来場いただいています。令和6年度は、5,013名の見学者を有明清掃工場で受け入れました。

見学会は下記スケジュールで開催しています。見学のお申込みやご相談は、下記までお問い合わせください。

【開催日時】

○団体見学：毎週月～金曜日（祝日、年末年始を除く）

○個人見学：毎月第三土曜日

※定期点検補修工事等により、見学ができない場合があります。

【工場見学のお申込み・お問合せ先】

有明清掃工場 技術係 TEL：03-3529-3751 受付時間：月曜日から土曜日の午前9時から午後5時まで

工場へのアクセス



交通機関

新交通ゆりかもめ お台場海浜公園駅下車徒歩10分

東京臨海高速鉄道りんかい線 国際展示場駅下車徒歩12分

本報告書に関するご意見・お問合せ先

名 称：東京二十三区清掃一部事務組合 有明清掃工場
所在地：東京都江東区有明二丁目3番10号
電 話：03-3529-3751、FAX：03-3529-3764
作成者：有明清掃工場 環境管理責任者
発行責任者：有明清掃工場長
発行日：令和7年12月

印刷物登録

令和7年度第104号